

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

(令和 8 年度 第 1 回)

施 設 名 : グループホームやまもも

施設種類 : 認知症対応型共同生活介護、 介護予防認知症対応型共同生活介護

日 時 : 令和 8 年 5 月 19 日 (火) 14 時 00 分～

会 場 : 伊野本陣 ミーティングルーム

出 席 者 :

利用者家族様の代表	高齢者あんしん支援センター
地区民生委員	出雲市職員
伊野地区 自治協会長	

(議題)

- 1) 利用状況報告
- 2) 詳細報告
- 3) 各委員会からの報告
- 4) 活動報告
- 5) その他、意見交換

1. 利用状況（令和8年4月30日現在）

（1）登録者数 8名（男性2名／女性6名）

新規契約者（3月～4月）・・・1名

4/27 要介護2 男性

契約解除者（3月～4月）・・・1名

4/24 要介護5 女性

待機者 4名

（2）介護度別入居者数

	要介護度					平均介護度
	1	2	3	4	5	
入居者	2人	2人	2人	1人	1人	2.6

（3）平均年齢

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
入居者	96歳	75歳	86.8歳

2. 詳細報告

（1）入退所について

- ・ 75歳の男性 要介護2の方 4/27に入所
自宅で息子夫婦と同居。認知症状が進み、毎日昼夜問わず徘徊するようになり
家族も疲労困憊し施設入所を希望された。
- ・ 94歳の女性 要介護5の方 4/24に退所
ターミナルケアの方。4/24に当施設にてご逝去されました。

（2）体調について

今回は、大きく体調を崩される利用者様はいませんでした。

（3）ヒヤリハット報告

場所	居室・廊下	ホール	風呂・脱衣場	トイレ	離設	合計
件数	1	1	0	0	0	2

- ・ ホールで車椅子からずり落ちそうになり、近くにいた職員が支えた。
- ・ 歩行困難な方、ベッド上で回転され頭と足が逆になっていた。

(4) 事故報告

場所	居室・廊下	ホール	風呂・脱衣場	トイレ	離設	合計
件数	2	0	0	0	1	3

- ① 歩行困難な方、居室にて自分で体を動かして車椅子から転落されていた。負傷はされていません。

◆ ①の事故報告の見解

幻覚による独り言が多い方。大声になる場合は少しの間、居室にいてもらうことがありその際に興奮して車椅子から転落されていた。歩行困難な方で、普段は大人しく座っているので、興奮時はテーブルを置くなどして転落しないように車椅子の位置を考える。

- ② 歩行困難な方、居室のベッドの頭側の柵を外しベッド下に座り込んでいた。負傷はされていません。

◆ ②の事故報告の見解

以前は柵を頻繁に外していたため、柵を紐で固定していたが、最近は外さなくなっていたので紐を取っていた。再度柵を固定する。

- ③ 普段から車椅子を自走されている方。夜間、職員が他の利用者の居室にいた際に玄関の外まで自走されていた。職員がいないことに気づき、対応して大事には至らなかった。

◆ ③の事故報告の見解

毎日、自走で常に動き回っている方で、以前にも同じような事故があった。日中は常に気にかけているため大丈夫だが、夜間は職員が1人になるため目を離すことがある。夜間は玄関に鍵を閉めるのだが、少し早めに鍵を閉めることとする。

(5) 苦情報告

特にありません。

3. 各委員会からの報告

身体拘束の報告 (3月～4月) … なし

虐待の報告 (3月～4月) … なし

ヒヤリハットの報告 上記 2.(3) にて説明

4. 活動報告

< 行事報告 >

3月17日（火） 運営推進会議

令和7年度 第6回、運営推進会議を開催しました。

3月18日（水） 第三者評価機関による外部評価

午前中から第三者評価機関の2名が来所。外部評価が行われました。

3月27日（金） 花見ドライブ（その1）

斐川の菜の花畑までドライブに行きました。一面に広がる黄色い菜の花がとても綺麗でした。

4月8日（水） 花見ドライブ（その2）

愛宕山へ桜を見に行きました。青空の下、満開の桜がとても綺麗でした。

4月27日（月） 避難訓練

日中に台所からの出火という想定で訓練を行いました。

皆さん、職員の指示どおり行動して下さいました。

避難訓練が終わってからは、職員による消火訓練も行いました。

< 研修・活動 >

3月24日（火） 出雲市役所による令和7年度 集団指導

統括管理者、管理者3名、ケアマネ1名 参加

5. 意見交換

Q. 自治会長）外に出られる利用者さんがいると大変ですね。日中は鍵をかけないのですか？

A. 管理者）鍵をかけることは身体拘束になる可能性もあるので、夜間以外は鍵をしません。4月に入所された利用者さんが、自宅にいる頃から徘徊される方なので離設の心配があって目が離せません。すぐ外に出ようとされるので、職員と一緒に外に出て周辺を回って帰ってくることを毎日何回も繰り返しています。帰宅願望があって外に出てられても、職員と一緒に話しながら歩いているうちに散歩と錯覚するようで大体は施設に戻っていただけます。

Q. 民生委員）私は近所に住んでいますが、毎日歩いている姿を見かけます。多い時は1日に4回見かけることもあります。これから暑くなるので、付き添う職員さんも大変ですね。外に出るのを引き留める事はできないのですか？

A. 管理者）無理に引き留める行為も身体拘束になる可能性がある所以、室内の活動で興味を持つものを見つけて外に出なくなるような工夫をしないとはいけません。

次回は、令和8年7月21日（火）です。